

全国一般福岡地方本部ニュース

発行日

2015年3月26日

2015春闘要求書を を一斉に提出！

闘争体制を背景に、賃上げ、労働
条件改善要求の実現を！



(3. 3 北九州地区統一団交 真鶴会館3階)

全国一般福岡地本各支部分会は、2015年春闘統一要求額13500円以上と労働条件統一要求について、3月20日現在、北九州支部60分会、福岡支部36分会、筑後支部18分会、大牟田支部10分会、筑豊支部12分会が提出した。3月3日には、北九州労働総合会館において、全国一般北九州支部は会社側に一斉に春闘

要求書を提出し趣旨説明を行った。統一交渉には、各分会の分会長が出席し、山岡委員長より、中小企業労働者の社会的賃金格差問題、消費税の引き上げによる物価の上昇など、統一要求月額3万円の根拠を説明した後、各分会長からそれぞれ闘う決意表明が行われた。地本各分会は、遅くとも4月末決着を目指し、ストライキなどの闘争体制を背景に闘いを推し進めよう。

大手民間との格差是正の春闘を！

| | | |
|-----|-----------|----------|
| トヨタ | 賃上げ11300円 | 一時金246万円 |
| 日産 | 賃上げ11000円 | 一時金5.7ヶ月 |

連合春闘賃上げ回答 平均7497円

2015年大手民間春季労使交渉は、3月18日、会社側が労組に一斉に回答した。ベースアップ(ベア)は、トヨタ自動車が月額4000円(前年2700円)としたほか、パナソニックなど大手電機6社も月額3000円(前年2000円)で決着した。

トヨタのベア4000円は現行の要求方式となった2002年以降で最高となった。定期昇給分を含む賃上げ額は1万1300円(3.22%)にのぼり、消費税増税分の3%を上回る。

日産自動車 のベアはトヨタを上回る月額5000円(前年3500円)定昇込みで11000円で決着。年間一時金は5.7ヶ月と満額回答となった。

連合が発表した春闘第1回回答集計結果によると、定期昇給とベアをあわせた賃上げ額(平均賃金方式)は、20日午前10時の時点で、回答を受けた798組合の平均で7,497円と、前の年の同じ時期を1,006円上回った。また、定昇とベアを区分できる509組合では、ベア分が平均2,466円と1,187円上回っている。

古賀連合会長は、「継続的に賃金を引き上げるという大きな流れの道筋はつきつつある」、「賃金の底上げが重要で、これからが正念場」と述べた。

春闘総決起集会を開催！

冷泉公園に2842人が結集



(3月14日連合福岡主催2015春闘総決起集会)

3月9日、福岡市須崎公園で九州交運労協主催の2015年春闘決起集会が、3月14日には、福岡市冷泉公園で連合福岡主催の2015年春季生活闘争勝利総決起集会がそれぞれ開催され2842名の組合員が結集した。両集会後は福岡市の繁華街天神を「賃金・労働条件を改善するぞ」、「長時間労働を撲滅するぞ」、「働く者のため闘うぞ」など、シュプレヒコールをしながらデモ行進をした。

地本執行委員会で闘争指令を決定

地本は、3月14日、執行委員会を開催し、2015年の春闘闘争指令を決定し、各分会・組合員に下ろした。各分会は、闘争指令を職場集会で徹底討論し、闘争指令に基づき闘う体制を確立して経営側との交渉にのぞもう。

2015春闘闘争指令1号（*一部抜粋）

回答指定日から4月1日まで

- ① 回答指定日に回答が出なかったり、低額回答であった場合は、職場集会、組合旗掲揚、腕章・ワッペンを着用し時間外拒否などで厳重に抗議すること。
- ② 必要に応じて時限ストライキを行い、3月末日までの第2次回答指定日を設定して、その日以降のストライキ配置を通告、それを背景に回答引き出しと追い上げに全力を上げること。
- ③ 地域支部・業種別部会は、統一行動日・統一ストライキを設定して、分会相互の激励と支援、交流を拡大し闘いを強化すること。

4月1日以降4月22日まで

- ① 2次にわたる回答指定にもかかわらず回答が出ない場合、出ている昨年妥結額を下回る低額回答の場合は、24時間ストライキを中心とした抗議行動を背景に決着をはかること。
- ② 組合員は逐次地域支部・業種別共闘が取り組む未解決職場の激励と支援行動の先頭に立ち、積極的に闘いの強化に結集すること。
- ③ 闘争指令第1号に基づき闘うも、4月22日まで解決困難な職場は、闘争指令第2号に備えること。

スト・争議支援共同行動！

スト、裁判・県労委闘争で闘う労組への激励
や会社への抗議申し入れ行動を行う！



3月16日、北九州市では自治労全国一般労組、全労協全国一般、北九州地区労連が、ナショナルセンターの垣根を超え、2015年春闘をストライキで闘っている労組や裁判、県労委闘争など、会社と必死で闘っている7労組分会に対する支援行動と会社への抗議申し入れ行動を行った。当日は、郵政産業労働者ユニオン、自治労全国一般労組ホテルニュータガワ分会、同労組ソレイユ保育園分会、同労組岡野バルブ製造分会、同労組九州惣菜分会、同労組希望が丘高校分会、全労協全国一般ユニオン北九州東洋建設工業分会に対する支援行動が朝7時30分から16時30分まで行われた。参加者からは、「実際のストライキの現場に初めて参加して闘う勇気もらった」「会社から不当解雇され闘っている組合員の生の声が聞けて感動した」「会社の対応が直接見れて怒りがこみ上げてきた」「ブラック企業の実態がわかって勉強になった」「ナショナルセンターの枠を超えた取り組みは重要だと思う」などの感想が寄せられた。

先行分会・回答引き出す！

エヌエスジーアッセンブリーサービス分会

賃上げ 41500円で解決！

全国一般福岡地本の春闘交渉は、第一次指定回答日の3月20日を過ぎたものの、ほとんどの会社が「3月末決算をした後に回答する」、「検討中だから待ってほしい」、「例年通り4月以降にしてほしい」などと回答を渋っている。

このような厳しい中でも、闘争体制を背景に具体的回答を引き出している分会を報告する。

（北九州支部）日本板硝子（株）で働く労働者は、7年前に子会社であるエヌエスジーアッセンブリーサービス（株）に転籍させられ賃金を4年前に約10万円下げられた。昨年2月、労働者はエヌエスジーアッセンブリーサービス分会を結成して下げられた賃金の引き上げに立ち上がった。昨年は、労使交渉の中で9000円引き上げた。今年は、闘争体制を強化し県労委あっせん申請なども行った。そして、3月23日、県労委委員の熱心な会社への働きかけもあり、なんと41500円の賃上げで妥結した。合意書には、今後も引き続き賃金改善に向け労使協議をすることも入った。

エヌエスジーアッセンブリーサービス分会の大庭分会長は、「退職金をもらい関連会社に転籍後大幅に賃金さがり人生もあきらめ希望もなくなりました。その後、うつ病になって会社も暗に退職を迫ってきました。入るなら全国一般だという知人の紹介でダメモトで組合加盟しました。本当に労働組合の大切さが50歳を過ぎて初めてわかりました。もう少し早く労働組合に入りたかった。苦しんでいる未組織の仲間働きかけるなど今後は組合活動を頑張りたい。」と語っています。

前近代的労務管理の改善と非正規の教諭の待遇改善等を目指して今年2月に31名で分会結成した豊国学園分会は、常勤講師（1年雇用）の賃金差別改善として7600円の調整手当支給を引き出し、引き続き春闘交渉を継続している。

その他、厳しい運送業界の中でも、一次回答として野中産業分会3750円（前年1346円）、江藤運輸分会9000円（前年2500円）、日豊トランスポート分会5000円（前年凍結）、決算一時金一人3万円という、前年を上回る回答を引き出している。

（筑後支部）柳川合同分会は、中退金月額2000円増、一人決算一時金1万円を引き出している。

すべての分会は、苦しい生活改善と格差是正に向け、地本の闘争指令に基づき、要求実現に向け具体的回答を引きだそう。

地本春闘回答（3月27日現在）

| | |
|---------------------|---------------------------|
| 江藤運輸分会 | 9000円（前年 2500円） |
| 野中産業分会 | 3750円（前年 1346円） |
| 豊国学園分会 | 7600円*常勤講師調整手当4% |
| エヌエスジーアッセンブリーサービス分会 | 41500円（前年9000円） |
| 柳川合同分会 | 中退金月額2000円 決算一時金一人1万円 |
| 日豊トランスポート分会 | 5000円（前年凍結） 決算一時金一人3万円 |

* 組合員は、全国一般福岡地本のホームページや全国一般福岡・北九州支部、福岡支部のFacebookでつながろう！